

安心・充実の旅

●ご旅行条件（要約）

●募集型企画旅行契約
この旅行は株式会社タビーズ（以下「当社」）が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加するお客様は当社と募集型企画旅行契約（以下「旅行契約」）を締結し、株式会社ユーラストラベルが問合せ・申込みを受け付けます。

条件は下記他、別途旅行条件書（全文）、出発前にお渡しする最終旅行日程表＝確定書面及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。

●旅行条件・旅行代金の基準
この旅行条件は2019年2月20日を基準としています。また、この旅行代金は2019年2月20日現在の有効なものとして公示されている運賃・規則、又は2019年2月20日現在認可申請中の航空運賃・適用規則を基準として算出しています。

●旅行契約の解除
最少催行人数に達しなかった場合、旅行を中止することがあります。この場合は、出発の23日前（ピーク時は33日前）迄にお知らせします。

●取消料
旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除されるときは、下記の金額を取消料として申し受けます（お一人様）。

契約解除の日	取消料
旅行開始日の前日から起算して遡って40日目にあたると以降～31日目【ピーク時】4/27～5/6,7/20～8/31,12/20～1/7に開始する	旅行代金の10%

●お問合せ・申込先

“いい旅” 育てて 58年 東京都知事登録旅行業 第3-6973号 日本旅行業協会 正会員
株式会社ユーラストラベル 総合旅行業務取扱管理者：榊原 晋治

ユーラスツアーズ

☎ 03-6453-6633
FAX 03-6453-6630

〒108-0014 東京都港区芝 5-13-18 いちご三田ビル 9階

ホームページ <https://www.uras.co.jp>
tokyo@uras.co.jp

●営業日：平日（月～金曜日）09:00～17:30
土・日曜日・祝日は休みです ※当パンフレット掲載の写真はすべてイメージです

●旅行企画・実施

株式会社タビーズ

〒108-0014 東京都港区芝 5-13-18 いちご三田ビル 9階

キリトリ

参加予約票 工藤芳弘氏が同行・解説する『もう1つのアンネの日記』を訪ねる旅

①	フリガナ： 氏名	フリガナ： 住所	電話	F A X	携帯	メール
	フリガナ： 氏名	フリガナ： 住所	電話	F A X	携帯	メール
	氏名	住所	電話	F A X	携帯	メール

●都学校生協：□組合員 □未組合員 ●（ ）学校 ●継続組合員 ※所属学校名と都学校生協組合の有無を記載ください
●一人部屋希望：□する □しない ●出発前日宿泊予約（約5～8,000円）：□する □しない ●ユーラスツアーズの利用：□ある □はじめて

- 一般観光旅行とは異なるテーマや趣旨に沿った旅づくり
- 観光を短縮するような買物めぐりはしません！
- 詳しい資料やきめ細やかなご案内ー安心・充実の旅
- 格安ツアーに見られる「安かろう・悪かろう」にしない「こだわり」の旅

契約解除の日	取消料
旅行開始日の前日から起算して遡って30日目にあたると以降	旅行代金の20%
旅行開始日の前々日以降	旅行代金の50%
旅行開始後の解除または無連絡不参加	旅行代金の100%

※オプション・ツアー代金も上記取消料に準じます。
※査証（ビザ）取得実費代金、渡航手続手数料は、そのまま申し受けます。

- 旅行代金に含まれるもの（一部例示）
・航空運賃：旅程に表記した区間の個人包括旅行運賃
・宿泊料金：2人部屋基準、税・サービス料
・食事代：旅程に表記のもの
・空港、駅～ホテル間の送迎車料金
・添乗員同行の経費（同行と明示した場合）
・鉄道運賃（旅程に明示したもの）
・旅程に明示した市内（郊外）見学のガイド料、入場料、チップ
- 旅行代金に含まれないもの（一部例示）
・旅程以外に行動される場合の交通費、宿泊料、飲食費等
・渡航手続費用：旅券印紙代（新規に申請される場合）
・渡航手続手数料：出入国記録等書類作成費用、査証（ビザ）取得実費・手数料
・超過手荷物料金：規定重量・大きさ・個数を超える分

- ・個人的費用：電話、電報、FAX、クリーニング代、追加飲食費用
- ・一人部屋追加料金（相部屋の方がいない場合も同様）
- ・空港施設使用料、航空保険料および保安料
- ・訪問国入国税、燃油特別付加運賃
- ・日本国内の交通費、前泊の費用、ポーター
- ・任意の海外旅行傷害保険料、オプション料金
- その他（1）旅行代金はお一人分を表示しています。（2）当社所定の申込書にお客様のローマ字氏名記入の際には、使用されるパスポートに記載されている通りにご記入ください。氏名が誤って記入された場合は、航空券の発行替え、関係する機関への氏名訂正などが必要で、この場合、当社は第15条「旅行者の交替」に準じ、交替手数料をいただきます。なお、運送・宿泊機関の事情により、氏名の訂正が認められず、旅行契約を解除いただく場合もあります。この場合には、「旅行契約後の取消」に準じて手数料をいただきます。
- 当社の募集型企画旅行にご参加いただくことにより、航空会社のマイレージを受けられる場合がありますが、同サービスに関わるお問合せ、登録等はお客様自身で当該航空会社へ手続きいただけます。
- 時間帯の目安
以下の通りです。航空機、バス等の移動時刻をもとにした目安です。実際の時刻とは異なる場合がありますので、予めご了承ください。

早朝 朝 午前 午後 夕刻 夜 深夜
4時 6時 8時 12時 17時 19時 23時 4時

●お申込方法

1 当パンフレットの「参加予約票」をお送りください

下記の「参加予約票」にご記入の上、旅行社宛にご連絡ください。※お電話、メールにてのお問合せ・お申込み希望のご連絡でも受け付けいたします。※当社ホームページからでも可。「正式申込書」にご記入⇒添付してメールあるいはFAX可。

2 正式申込みに必要な書類を旅行社からご案内

「参加予約票」のご連絡後、旅行社より正式申込書と諸条件書類から旅行傷害保険申込書等をお送りします。※お書類到着後に条件を確認いただき、正式申込みの手続きをお願いします。

3 正式申込み手続き（下記①と②が旅行社に到着次第、正式申込み完了）

- ①正式申込書：ご記入の上、旅行社宛にご連絡ください。
- ②申込金（旅行費用内金）：50,000円を下記口座へお振込みください。
▶口座名義：（株）ユーラストラベル
●ゆうちょ銀行 記号番号 00180-8-265002（〇一丸店）
●みずほ銀行 神谷町支店（普）口座番号：1370507
●りそな銀行 麻布支店（普）口座番号：1782149
※領収書は、銀行あるいは郵便局が発行する明細書をもって替えさせていただきます。

「ホロコースト」とは何だったのか！

その真実を探り学ぶ

ウィーン・ザルツブルク・ミュンヘン・ニュルンベルク

『もう1つのアンネの日記』

を訪ねる旅 10日間

ヒトラーのウィーンとトラップ一家のザルツブルク アンネの恋人ペーター終焉の地、ドイツ第三帝国と 白バラ抵抗運動のミュンヘンとニュルンベルクへ

東京都学校生協の企画で、昨年はアンネ・フランク誕生の地から終焉の地までを時系列で訪れる「アンネ・フランクの軌跡を訪ねる旅」を実施し好評でした。今年は、その第2弾として、『もう1つのアンネの日記』を訪ねる旅」と題して、旅の企画を立てました。

ウィーン、ザルツブルク、ミュンヘン、ニュルンベルクなど、ヒトラーに関わりのあるこれらの地を訪ね、ホロコーストの真実を探るとともに、『もう1つのアンネの日記』について考えてみたいと思います。

学校生協ならではの企画です。皆さまのご参加をお待ちしております。東京都学校生活協同組合専務理事 工藤 芳弘



マウトハウゼン強制収容所



ダッハウ強制収容所



ドク・ツェントルム

- ヒトラーが青春時代を過ごした地と独裁者になる上で重要な場所となったウィーンで訪問
- アンネの恋人ペーター終焉の地マウトハウゼン強制収容所の見学
- 実際のトラップ一家の足跡を訪ねザルツブルクへ
- 映画「サウンド・オブ・ミュージック」の舞台で大自然を満喫
- 「死の行進」があった最初の収容所ダッハウ強制収容所の見学
- ヒトラーの活動拠点ミュンヘンとナチ党大会のあったニュルンベルク、そして白バラ抵抗運動ゆかりの地へ

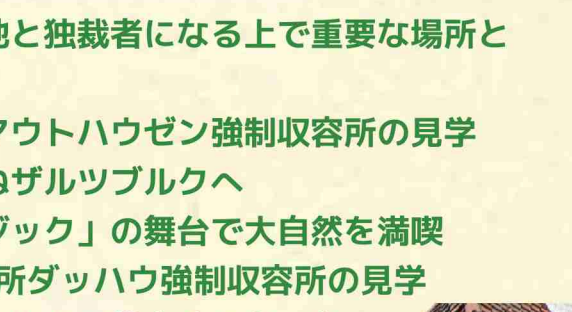
アンネ・フランク 研究家
東京都学校生協専務理事
東京都教職員組合元委員長

工藤芳弘氏が 同行・解説



ウィーン・シュテファン聖堂

ザルツカンマースグート



ニュルンベルク旧市街

旅行代金・諸条件	
旅行期間	2019年9月30日⑩～10月9日⑩ 10日間
旅行代金	399,000円 ※2名1室利用(子ども料金設定なし)
実施人数	30名様(最小催行人数:25名様) ※25名様未満の場合は、旅行費用変更を通知～ご参加の有無を伺います
申込締切	8月16日⑩(※定員になり次第、締め切ります)
別途費用	●燃油サーチャージ:43,500円 ●訪問国諸税:15,620円 ●成田空港施設使用料:2,610円
一人部屋追加料金	77,500円(※相部屋の方がいない場合も要追加料金)
日本発着空港	成田空港

- 利用予定航空会社: **ポーランド航空**(スターアライアンス・グループ)
※往路出発予定時刻:午前10時15分(集合:午前08時15分予定)
※復路到着予定時刻:午前08時15分予定
※団体座席につき、事前座席指定は不可となります。出発当日に成田空港で各自チェックイン時に係員に希望をお伝えください(予約状況によっては希望が通らない場合有)
- 宿泊予定ホテル: **ウィーン**(シムス★★★★) / **ザルツブルク**(ハウスパーガーホフ★★★★) / **ミュンヘン**(ホヤッカーホフ★★★★) ※バスタブのない場合があります。
- 添乗員:1名同行(成田発着)

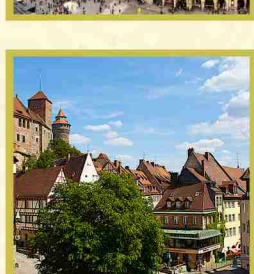
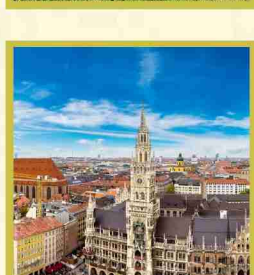
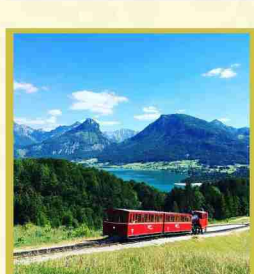
スケジュール / 食事(朝食) / 宿泊地	
1	成田空港(10:15)発 ✈ 空路、ポーランドの首都ワルシャワ(11h15m)へワルシャワで乗継手続き〜ワルシャワ発 ✈ 空路、 ウィーン (1h15m)へ ■夕刻:専用車にてホテルへ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ウィーン 泊
2	■終日: ヒトラー関連の地とユダヤ迫害の場所を見学 =ヒトラーが降り立った◎西駅、ユダヤ解放に尽くした人物像がある◎ ユーデンプラッツ広場 、ユダヤ教会の遺品を展示する● ユーデンプラッツ美術館 、◎ ホロコースト記念碑 、◎ 浮浪者収容所 、◎ 戦争反対の像とユダヤ老人の像 、◎ ユダヤ教会シナゴーク <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ウィーン 泊
3	■午前: 若かりし頃と総統後のヒトラー関連の場所を見学 =ヒトラーが受験を失敗した◎ 造形美術大学 、総統として凱旋したヒトラーが演説した◎ 英雄広場 、◎ 国立歌劇場 、◎ 国会議事堂 、◎ 独身者施設 ■午後: ウィーン市内見学 =大司教区の聖堂◎ シュテファン大聖堂 、◎ 美術史・自然史博物館 、栄華を極めた王城◎ シェーンブルン宮殿 OP 本場で音楽鑑賞 ※内容:未定 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ウィーン 泊
4	■早朝:陸路、 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> アンネの恋人ペーターの終焉の地へ (約165%) ■午前: マウトハウゼン強制収容所の見学 =「死の行進」で有名なナチスの強制収容所。特に過酷で多くの犠牲者を出した場所● 収容所博物館 = 囚人バラック ・ 親衛隊兵舎 ・ ガス室 など ■午後:陸路、 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ヒトラーが住んでいたこともある リンツ へ(約25%) ■着後:リンツで昼食〜◎ ヒトラーの元居住場所を見学 ■午後:陸路、 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 映画『サウンド・オブ・ミュージック』のトラップ一家が住んでいた ザルツブルク へ(約135%) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ザルツブルク 泊
5	■午前: 実際のトラップ一家の足跡を訪ね =ナチと併合した◎ 帝国大管区跡 、◎ トラップ大佐の屋敷跡 、映画の舞台◎ ミラベル庭園 、 マリアゆかりの◎修道院 、 トラップ一家のスイス亡命への◎出発駅 ■午後: ザルツブルク市内見学 =● モーツァルトの生家 、◎ レジデンツ 、◎ ホーエンザルツブルク城塞 、郊外(ブラウнауアムイン)にある◎ ヒトラーの生家 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ザルツブルク 泊
6	■早朝:陸路、 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> サウンド・オブ・ミュージックの舞台ザルツカンマーグートへの小旅行 (約56%)= ザンクト・ヴォルフガング 〜登山鉄道で シャープベルク の山頂へ〜午後:陸路、 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ドイツ南部の中心都市 ミュンヘン へ(約195%) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ミュンヘン 泊
7	■午前: ダッハウ強制収容所の見学 =「死の行進」があったナチス最初の強制収容所● 収容所博物館 = 鉄の門 ・ 収容棟 ・ 焼却炉跡 ■午前: ナチ党本部跡と史実の展示を見学 =ナチス党本部跡に建てられた◎ 「ナチスの過去」博物館 、史実を展示◎ ミュンヘン市博物館 ■午後: 「白バラ抵抗運動」ゆかりの地を見学 =◎ ミュンヘン大学 と構内、◎ 白バラ記念館 、◎ シヨル広場 と シヨル兄弟が住んでいたマンシヨン跡地 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ミュンヘン 泊
8	■早朝:陸路、 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 鉄道(2等席)にて ニュルンベルク へ ■午前: 第三帝国の帝都予定地ニュルンベルクの見学 =◎ ナチ党本部跡 、 ナチ党大会跡 ◎ ドク・ツェントルム 、 ヒトラー演説の場所 ◎ 野外競技場と集会場 、◎ ニュルンベルク裁判の場所 ■午後:陸路、 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 鉄道(2等席)にて ミュンヘン へ ■着後: ナチス党とヒトラー関連の場所を見学 =◎ ナチ党結成の地 、◎ ヒトラー元官邸 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ミュンヘン 泊
9	■午前:ミュンヘン(09:40)発 ✈ 空路、ワルシャワ(1h35m)へワルシャワで乗継手続き〜ワルシャワ発 ✈ 空路、 成田 (10h30m)へ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機中 泊
10	■午前:成田(08:35)着 ■着後:入国手続き〜通関審査〜解散 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機中 泊

注:日程上の表記=●印=入場見学、◎印=下車見学、○印=車窓より見学
OP印=希望者参加のオプション・ツアー
印=機内食、印=食事付、印=自由食、✈印=航空機、印=専用車、印=列車

同行講師
アンネ・フランク
「ホロコースト」研究者
工藤 芳弘氏
(くどう よしひろ)
東京都学校生活協同組合 専務理事
東京都教職員組合 元委員長

●プロフィール
都内の中学校教師をへて、東京都教職員組合(都教組)の書記長、委員長を歴任。教師時代から東京大空襲、ヒロシマ・ナガサキ、沖縄、ホロコースト(シヨアー)などの学習にとりくんできた。とりわけアンネ・フランクについては、ライフワークとして研究しており、旅の企画や学習会、海外での案内も行っている。現在は、東京都学校生活協同組合専務理事、都教組専門委員、東京大空襲・戦災資料センター運営委員など多くの場所で活動をしている。

街 中世宮廷文化が開花し、栄華を極めたハブスブルク帝国とバイエルン王国。第一次大戦後の世界情勢が生み出したホロコーストの中心地になった背景と街を訪れ・見聞する



●**ウィーン** VIENNA
✈ **ヒトラーが学生時代に過ごした地**
「音楽の都」、「森の都」と称される大都市ウィーン。ゴシック、バロック、ネオゴシック様式の歴史ある建造物が並ぶ姿は、神聖ローマ帝国、オーストリア・ハンガリー帝国時代の支配者ハブスブルク家の繁栄した姿を今に残す。また、モーツァルト、ベートーヴェン、ヨハン・シュトラウス、ハイドンら楽聖たちが活躍した街でもある。

●**ザルツブルク** SALZBURG
✈ **トラップ一家ゆかりの街**
ザルツは「塩」、ブルクは「砦」の意味を持ち、モーツァルト生誕の地として、あまりに有名な古都ザルツブルク。紀元前1800年以前の古代・新石器時代からの起源を有し、雄大なアルプスを背に壮麗な街並みが続く旧市街は、ユネスコ世界遺産に登録され、世界でもっとも美しい町の1つと訪れる旅人を魅了してやまない。

●**ザンクト・ヴォルフガング** ST. WOLFGANGSEE
✈ **映画サウンド・オブ・ミュージックの舞台**
オペレッタ「白馬亭」で知られるヴォルフガング湖畔の景勝地。メルヘンのような民家が並ぶ町。教会裏手や湖畔のプロムナードから眺める湖水も美しく、登山鉄道でシャープベルク山へ登れば、11の湖水、ダッハシュタイン、ホーエ・タウエルンなどアルプスの大パノラマが広がります。

●**ミュンヘン** MUNICH
✈ **白バラ抵抗運動ゆかりの地**
南ドイツに花開いたドイツ宮廷文化の中心地。12世紀以来、バイエルン王国800年の王城の地である。特に16世紀アルブレヒト5世王の時代からルネッサンス、バロック、ロココなどの諸文化が栄華を極め、「イーザル河畔のアテネ」と称された豪華な宮殿群、建造物や膨大な美術品が残されている。

●**ニュルンベルク** NURNBERG
✈ **ドイツ第三帝国の帝都予定地**
バイエルン州第2の都市。石畳とレンガ色の街並み、城や教会など中世の姿を今なお残す旧市街は、全長5kmにわたる城壁で囲まれるロマンチックな街。第二次大戦後にナチ戦犯に対する「ニュルンベルク裁判」が開かれた場所でもあり、また1933年にはナチ党大会が開かれた過去をもつ町でもある。

探 ホロコーストと「死の行進」、抵抗運動 ゆかりの地・ヒトラーのドイツ第三帝国

●**マウトハウゼン強制収容所**
アンネの恋人ペーター終焉の地
4日目 / ザルツブルクへの移動日

ナチ強制収容所の中で特に過酷だった収容所。1938年、オーストリア最大の花崗岩採石場を見下ろす丘に建設。「夜と霧の布告」で捕まった者が主に送られ、再教育の見込みのない犯罪者・反社会分子が収容。被害者は32万人と言われ、1943年には、約1万5000人のうち7058人が死亡、絶滅収容所を除く他の強制収容所をはるかに上回った。



●**実際のトラップ一家**
映画に描かれなかった足跡
5日目 / ザルツブルク

修道女マリアは、フォン・トラップ家で家庭教師として働き、父親のゲオルクと結婚。1933年の金融恐慌で財産を失うが、歌で収入を得、音楽祭で優勝。「トラップ室内聖歌隊」として活動。1938年オーストリアがナチスに併合。一家に同情的だったナチ党員の執事が亡命を進言。汽車を乗継ぎイギリス、アメリカへ出航。1956年まで音楽活動を行った。

●**ダッハウ強制収容所**
「死の行進」のあった最初の収容所
7日目 / ミュンヘン郊外

ミュンヘンの北西15キロにあり、第一次大戦中に、火薬工場だった町の廃工場を利用して建設。強制収容所の中ではオラニエンブルクと並んで最も古い。1933年3月から、SSによって管理される。後に創設された多くの強制収容所のモデルとなった。30以上の国から20万人が送り込まれ、3分の1がユダヤ人であった。32,099人が被害者となる。

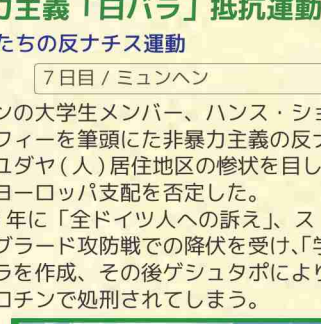


●**非暴力主義「白バラ」抵抗運動**
大学生たちの反ナチス運動
7日目 / ミュンヘン

ミュンヘンの大学生メンバー、ハンス・シヨルと妹ゾフィーを筆頭に非暴力主義の反ナチ運動。ユダヤ人居住地区の惨状を目し、ナチスのヨーロッパ支配を否定した。1942~43年に「全ドイツ人への訴え」、スターリングラード攻防戦での降伏を受け、「学友へ」ピラを作成、その後ゲシュタポにより逮捕、ギロチンで処刑されてしまう。

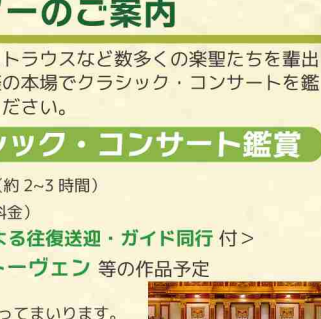
●**ドイツ「第三帝国」**
ナチ独裁支配によるドイツ民族の帝国
8日目 / ニュルンベルク

神聖ローマ帝国を第一、ビスマルクの帝政ドイツを第二、その後を継ぐドイツ民族(アリア人)による3度目の帝国として用いられた。闘争紙で、「ドイツは目覚めた。偉大な仕事が始まった。『第三帝国』の日が到来したのだ。」と書かれ、ヒトラー談話では、「今やドイツという時、それは『第三帝国』以外の何ものでもない。」と語っている。



鑑 オプション・ツアーのご案内

OP **音楽の本場ウィーンでクラシック・コンサート鑑賞**
●日時:10月2日⑩ 19~20時頃スタート(約2~3時間)
●料金:18,000円~20,000円(※お一人様料金)
●催行:6名様以上で実施<入場料・専用車による往復送迎・ガイド同行付>
●劇場:未定 / 演目:モーツァルト / ベートーヴェン 等の作品予定
(※劇場・演目詳細は決定次第ご案内いたします)
※お申込み時点での確保可能な座席によって料金が異なってまいります。
※チケットは買い取りとなります。お申込み後に取消された場合、チケット代は全額ご負担、それ以外の費用は旅行契約解除の取消料率に準じます。



●「ホロコースト」とは

ナチス政権とその協力者による約600万人のユダヤ(人)の組織的、官僚的、国家的な迫害および大量虐殺のこと。
1933.1月にナチスが政権を握った時には、ヨーロッパにおけるユダヤ(人)人口は900万人を超えていた。ナチスは、ドイツ人を「優れた人種」とした上で、ユダヤ(人)を「劣った人種」と見なし、ゲルマン民族に対する脅威と位置付けた。
ナチス政権初期から、同性愛者や反ナチスの迫害、政治的敵対者(共産主義者、社会主義者、労働組合員など)や宗教的異分子を弾圧し、多くを監禁と虐待のため死亡させた。1945年までにドイツ軍とその協力者は、ヨーロッパのユダヤ(人)殺害政策=ヴァンゼー会議での「最終的解決」の一環として、3人に2人を殺害、そのほかに約20万人のロマ族(ジプシー)、20万人の精神障害者や身体障害者が、安楽死プログラムの名のもとに殺害された。
ナチ政権がヨーロッパ全土に広がるにつれて、迫害や殺戮はエスカレートし、強制収容所に送り込み、悲惨な条件で働かせ犠牲者は何百万人にも及んだ。「最終的解決」の実施
戦争勃発前の数年間でユダヤ(人)やロマ族などを対象者に収容所に監禁。ユダヤ(人)を監視するためのゲットー、通過収容所、強制収容所を多数建設する。1941.6月のソ連進攻後には、ユダヤ(人)、ロマ族、ソ連当局者及び共産党員に対する大量殺戮作戦を実行。1941~44年にかけて、数百万人のユダヤ(人)をゲットーや絶滅収容所に移送し、特別に開発されたガス施設にて彼らを殺害した。
※ホロコースト・ミュージアム(HOLOCAUST MUSEUM)のHPより引用

●「死の行進」とは

大戦末期、連合国軍の接近にともない、各収容所から囚人をドイツ国内の収容所に移動。最初は列車移送、その後は寒戦の中、長距離を歩かせた。これが「死の行進」として有名になる。最も大規模な行進は、ソ連軍がアウシュビッツ到達前、数万名の囚人を56キロほど離れた町に向け行進させた。1回の行進中、7,000のユダヤ囚人を移送中の10日間に700人を殺害、ほかは目的地到着後に射殺された。(※以下は重要な日付)
●1945.1/8、アウシュビッツ強制収容所から約6万の囚人が「死の行進」。数千人は行進前に殺害、行進中に15,000人超が死亡。その他はドイツへ移送。主な移送先はプロッセンビュルク、ザクセンハウゼン、グロース・ローゼン、ブーヘンヴァルト、ダッハウ、マウトハウゼンの各収容所。
●1945.1/25、ポーランド北部のシュトゥットホーフ強制収容所からの撤退と「死の行進」。約5万の囚人が撤退を開始。約5,000の囚人が射殺され、その他はドイツ東部ラウエンブルクまで「死の行進」。途中、ソ連軍によって阻まれ引き返す。1945.4月下旬、ソ連軍の完全包囲にあい海路で移動、25,000人超の囚人が死亡してしまう。
●1945.4/7、ブーヘンヴァルト強制収容所からの死の行進
米軍接近にともない、収容所から大量撤退が開始。約30,000の囚人が、米軍から遠ざかるように「死の行進」に追いやられる。行進中、約3分の1の囚人が死亡。
●1945.4/26、ダッハウ強制収容所からの「死の行進」
収容所解放の3日前、約7,000の囚人を南にあるテーゲルンゼーまでの「死の行進」に追いやる。この「死の行進」で多くが射殺、寒さや飢え、疲労のために死亡。
※ホロコースト・ミュージアム(HOLOCAUST MUSEUM)のHPより引用